



春号「今大切な事とは？」



平素は格別のご贔屓にあずかり、お世話になりまして誠にありがとうございます。

職場環境を改善するために、3月から朝礼をリモートで始めました。どこに居ても開催し参加できるように、情報共有や申し送りをSNSだけではなく口頭で顔を見ながら10分以内でというルールのもと継続しています。昔ながらの「社是」「経営理念」「行動指針」の唱和から始まります。コミュニケーションと作業効率に繋がることを期待しています。利用者様とはご縁だと思い、ご縁で繋がっている方への思いやりやおもてなし、そして、寄り添う事は当然の事と捉えています。地域でお役立つ機会に感謝し、他職種とのネットワークの中で、プロとしての知識やスキルアップに研鑽して参ります。一度しかない人生、何処で生活していても自分らしく生きられる環境や世の中であります様に祈念しております。地域で暮らすお一人お一人の療養生活を支えられますように、地域連携の一員として、おもてなしの心に磨きをかけて参ります。今回は「今大切な事とは？」の事例です。ホームページ『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきてくださいね(橋井)

U様80歳半ば女性 要介護4認知症なし。うつ血性皮膚炎。蜂窩織炎。高血圧症。骨粗しょう症。側弯症。乳癌リンパ廓清術後抗がん剤治療中。重度貧血。夫を早くに亡くし、娘夫妻と同居。蜂窩織炎で加療入院、退院を機に訪問診療と訪問看護導入。介護力は長女一人で、娘婿との関係性も良好。長女の介護負担を減らすためにディサービスの利用開始。周りが認知症の方ばかりで不満を漏らす、スタッフとのコミュニケーションとリクリエーションを楽しむことにシフトし、欠席なく通所できていた。長女への依存が増えていき、夜間トイレに行く時に毎回起こされてしまうことに、長女は寝不足で体調を崩してしまった。レスパイトでショートステイ利用開始。お友達がいないので面白くないと繰り返し拒否をする為、利用回数や滞在日数も減っていった。ADL低下で、福祉ベッドや手すり等設置で自宅で療養するには良い環境でも、ベッドからの転落や転倒を繰り返し、室内でも車椅子の生活になった。癌治療で貧血が進み、疼痛の訴えも酷くなったが、高齢でもあり、癌の進行は認めず、発熱等あるが、悪化無く在宅療養を長く続けられると誰もが思っていた。3/15に朝食時嘔吐、その後38度超えの熱発、SPO2:80と低値で低下していくため、病院、在宅医、訪看の連携は大変良く、病院に架電し受け入れ状態を確認、緊急外来に救急車で搬送するよう指示頂き、救急車で搬送。訪問医師に連絡し書類作成。検査の結果、胸水貯留し、癌の進行が全身に広がっていた。緩和病棟に移り9日目まで永眠。前日まで娘さんと談笑していたので、まさかと信じられなかったと娘さん。「自宅に居る時は依存度の高い母から呼ばれるのを無視したり、強い口調で話したり、優しくして挙げられなかった。本当にダメな娘で、母がかわいそうです。家に帰る帰りたいとずーと言っていたのに、帰してあげられなかった。」と号泣。慰める言葉も見つからず、娘さんを抱きしめるしかなかった。グリーンケアを何度も行った。4月に誕生日用で撮った写真が遺影で、大好きな花束を持ち満面の笑み。夫を早く亡くし、一人娘と臍帯がまだ繋がっているほど、仲良しでした。夫婦関係より親子関係が密で心配もしました。毎日優しく出来ないのが家族で、まだまだ長生きしてくれると思っていたからこそ、厳しい言葉も多くなってしまう。ある日突然お別れの時が訪れ、悔いと喪失感しか残らない遺族の方々に、訪問看護師としてどう寄り添えば良いのか、毎回考えさせられます。一緒に泣いてもいいと思っています。(橋井)



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に医療相談や訪問看護お試サービス[※]を無料で行っております。お気軽にお問い合わせください！



 **Facebook**
ございます！



24時間対応



**ターミナルケア・お看取りも
対応いたします**

訪問地域

その他の地域もぜひご相談ください！

世田谷区

松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤

杉並区

永福・和泉・浜田山・下高井戸

〒156-0043

世田谷区松原2-41-15エテルノ明大前203

 ネットワーク訪問ナースステーション

TEL:03-6762-2272

FAX:03-6767-3703

03-6379-0684

